

2017年度

# 北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

北海道議会議長 様

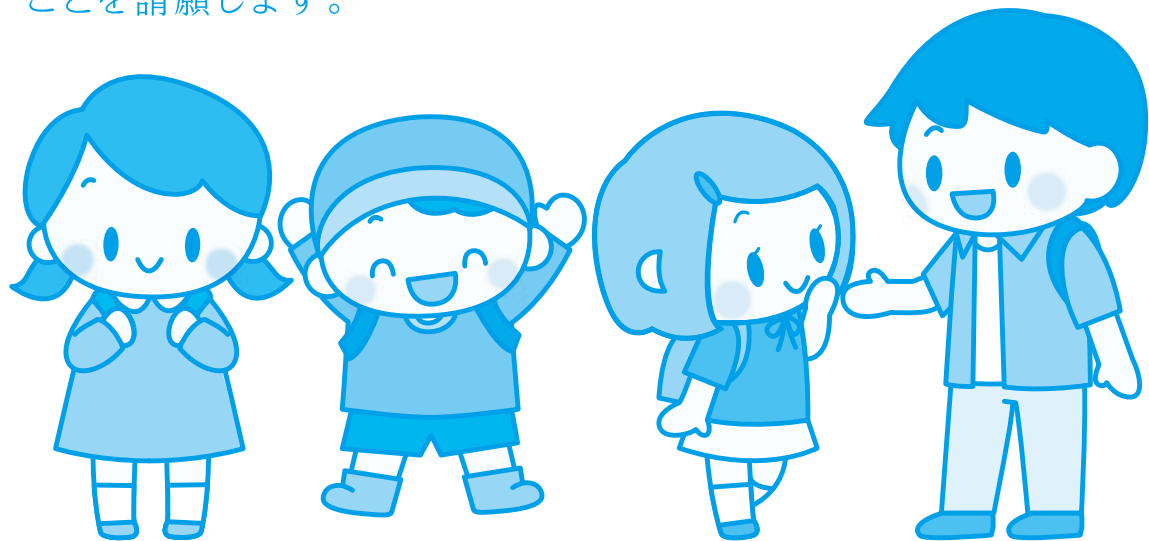
2017年 月 日

すべての子どもたちにゆきとどいた教育を保障してほしいという保護者・教職員・道民の願いに応え、北海道をはじめ全国の多くの自治体が独自に少人数学級を実施してきました。国もそうした地方の動きに後押しされ、小学校1・2年生までの35人以下学級を実施してきました。

また、道内の各市町村では、独自に教職員や支援員などの配置、給食費・通学費・検定受験料・入学準備金などの補助を行ったり、奨学金の制度をつくったり、教育条件整備を積極的にすすめています。

一人ひとりの子どもが、経済的な心配をすることなく、ゆきとどいた教育を受けられるようにするためには、北海道の教育予算を増額し、教育条件の整備をすすめることが求められます。

憲法と子どもの権利条約は、すべての子どもたちに教育を受ける権利を保障しています。子どもたちの笑顔が輝き、学校が友だちや先生と楽しく学び合う場になるよう、北海道に対し以下のことを請願します。



ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会

《連絡先》

札幌市中央区大通西12丁目 TEL 011-231-0816 北海道高等学校教職員センター内

国の責任による35人学級の前進、教育の無償化、教育条件の改善を!

# 2017年度 すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める全国署名

衆議院議長 様  
参議院議長 様

2017年 月 日

国の制度としての35人以下学級は、小学校1、2年生まですすんだものの、小学校3年生以降への広がりはありません。子どもの数が減少している今、わずかな教育予算増で35人以下学級をすすめることができます。

「高校無償化」に所得制限が導入され3年経ち「見直し」がおこなわれます。所得制限をなくし「高校無償化」復活を求めることが必要です。また、「高校生等奨学給付金」については、教育予算増によって給付制奨学金制度の拡充が求められます。さらに、大学生への「給付型奨学金」もつくられましたが、対象者数も額も決して十分なものとはいえず、いっそうの改善が必要です。

国連は日本政府に対して「高等学校等就学支援金」の改善を求め、2018年5月31日までに回答するよう求めています。いまこそ、高校・大学教育の無償化を実現するとりくみを広げることが重要です。

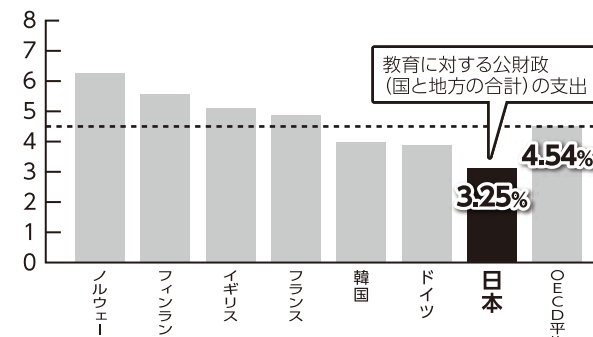
また、特別支援学校の児童・生徒数が急増していますが、学校建設等が追いつかず劣悪な教育環境のまま放置されています。幼稚園から大学まですべてにある「設置基準」を特別支援学校につくることはまったなしの課題です。さらに、特別支援学級の学級編制標準を引き下げることが必要です。

日本の「教育機関への公財政支出の対GDP比(2013年度)」は3.2%でOECD諸国の中では下から2番目の低さです。OECD平均並みの4.5%まで段階的に引き上げていけば、小・中・高校の35人以下学級の実現のみならず、一人ひとりにゆきとどいた教育を保障するための教育条件整備と、公立・私立ともに就学前から大学まで教育の無償化をすすめることが可能となります。安倍首相がいう憲法「改正」をしなくても無償化できることは明らかです。

国に対し、憲法と子どもの権利条約が生きる学校をつくるため、以下のことを請願します。

## 6.8兆円の増額でOECD平均並みの教育費に

公財政教育支出の対GDP比(2013年)



出典:OECD[図表でみる教育](2015年度版)

ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会

《連絡先》

札幌市中央区大通西12丁目 TEL 011-231-0816 北海道高等学校教職員センター内

1. 教育予算をOECD諸国並に計画的・段階的に増やし、ゆきとどいた教育条件整備をすすめてください。
2. 国の責任で小・中学校、高等学校の35人以下学級を一刻も早く実現してください。  
また、幼稚園や特別支援学級・学校の学級編制標準の引き下げをすすめてください。
3. 教育費の保護者負担を軽減して教育の無償化をすすめてください。
  - (1)「高校無償化」を復活し、公立・私立ともに学費の無償化を実現してください。
  - (2)私学助成国庫補助の増額と、就学支援金制度を更に拡充してください。
  - (3)必要とするすべての高校生・大学生に対する返済不要の「給付制奨学金」をつくってください。
  - (4)大学等の学費を引き下げてください。
4. 公立・私立ともに豊かな環境のもとで学べるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。
  - (1)臨時教職員ではなく、正規・専任の教職員を増やしてください。
  - (2)特別支援学校の「設置基準」をつくり、特別支援学校の過大・過密問題を解消してください。
  - (3)体育館等の施設を含めた学校耐震化率100%を早期に実現してください。
5. 東日本大震災などの地震や自然災害、福島原発事故の被害を受けた子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興をすすめてください。

氏 名 (フルネームで)	住 所 (番地までお書きください)
	北海道
	北海道
	北海道
	北海道
	北海道

記入上のお願：趣旨に賛同される方なら年齢は問いません。道外の方でも署名できます。(北海道を二重線で消してください) 家族署名などの場合、名前や住所を「々」「同上」のように省略せずに記入してください

1. 「北海道子どもの生活実態調査」では、子育て世帯の2割強が「家計が赤字」と回答しています。貧困と格差から子どもたちを守るため、来年度の教育予算を増額してください。
2. お金の心配なく学べるよう、教育活動に不可欠な教材費、給食費など、学校教育にかかる保護者負担を軽減してください。
3. 全国では、20府県が小中学校の少人数学級を実現しています。全国と比べ、すすんでいない北海道の少人数学級を、順次拡大してください。
4. 学校は地域にとって教育・文化の拠点です。「学校統廃合」は、保護者・地域・住民の声を十分に受けとめ、機械的に行わないように配慮してください。
5. 教職員は、常態化している超過勤務や多忙により、授業の準備や子どもと向き合う時間が確保されていません。ゆとりある教育環境をつくるため、教職員を増員してください。
6. 障害のあるすべての子どもたちに適切な支援ができるよう、教職員配置や施設・設備の改善を行ってください。

氏 名 (フルネームで)	住 所 (番地までお書きください)
	北海道
	北海道
	北海道
	北海道
	北海道

記入上のお願：趣旨に賛同される方なら年齢は問いません。道外の方でも署名できます。(北海道を二重線で消してください) 家族署名などの場合、名前や住所を「々」「同上」のように省略せずに記入してください

